

【新規設定コース】 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1841	【通信活用研修】 実力発揮メソッド<実践編>B ー大会本番に向けたメンタルスキルの確認ー	【集合研修日】 令和4年8月4日(木)	6 (1職種)	2 (集合1)
開催会場	受講者所属施設	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	L3	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	この研修の目的は、これまで培ったコンダクト・スキルを本番仕様に高めることです。本番さながらの作業をしていただき、それらを講師が観察した上で、助言を行います。 (到達目標) ・技能五輪国際大会で起こり得る不測の事態を予見し、感情コントロールができるようになる			
最低限 必要な知識	「実力発揮メソッド<基礎編>」を受講済みの方。 6時間相当の事前課題を行っていただき、研修は実際の訓練場所にて行います。選手と指導者のセットでの受講が必要です。1回あたり1職種に限定して行います。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、概ね集合研修前に基礎的な事前課題が提示され、研修時に解説等でフィードバックされます。  事前課題：当日実施する作業の計画 (1) TPから任意のモジュールを選択し、3時間作業を実施する (2) 選択モジュールの概要、時系列にそった作業計画を書き出す (3) 現時点での問題点や観察・助言を希望する点について書き出す (4) 指定日から当日までの間、選手は感情などの心理指標を記録する			(6) H
	1. 作業実践 (1) 選択したTP・モジュールの概要 (2) 3時間の作業実践（動画撮影含む） ※認知負荷が高まったときの反応や対応を観察するため、時間遅延や想定外のミスなどが起こったという想定でランダムに作業を止めるなどの介入を実施 (3) 作業終了後の評価と心理指標の記録			3 H
	2. 分析と助言 (1) 事前課題の内容をもとに分析・助言 (2) 今後のコンダクト・スキル強化のための訓練設計のポイント (3) 質疑応答		1 H	2 H
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	1回に1職種限定で、直前に迫った本番を想定した実践的な感情のコントロール手法について、職種や選手の特徴に合わせた助言を受けることができます。本番直前ならではの問題や、本番までの過ごし方についても質問もでき、より習熟度が深まります。			
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員 (ユニット)	外部講師			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				